

# かけはし



発行：峡南教育事務所地域教育支援スタッフ 所在地：南巨摩郡鞆沢町771-2  
 TEL：0556 22 8154 FAX：0556 22 8144  
 HPでもご覧になれます。URL <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>



## 老・若・男・女 多種多彩な行事開催

少而学、則壯而有為。壯而学、則老而不衰。老而学、則死而不朽。

佐藤一斎 『言志四録(言志晩録)』から

### 『山梨ことぶき勸学院 数野 強 学院長 特別講義』

ことぶき勸学院西八代学園では7月15日(水)に市川三郷町総合福祉センターで、南巨摩学園は8月25日(火)に南巨摩合同庁舎において、山梨ことぶき勸学院 数野 強 学院長による特別講義『日本人の精神文化と自然』が行われました。今回の講義は1,2年生合同で両学園合わせて100人の生徒が受講しました。数野学院長の講義は、「日本人とは何か」を、日本人の精神構造と宗教性・社会性と日本文化の有り様と日本的なものという見地から説明され、「自然とは何か」について老荘思想や仏教思想のなかの無為自然と有為自然と捉えて講義されました。最後の締めくくりは「人の一生は無為自然に始まり、有為自然を経過して無為自然に戻っていく。」として、どんな生き方があるか、どんな生き方をすればよいのか、意義深い内容でした。

### かけはし82号の紙面

- p1 ことぶき勸学院他
- p2 峡南高校文科省研究指定
- p3 峡南高校研究イメージ図
- p4 シリーズ「地域の橋」  
インフォメーション



### 『まほらの郷 鷹座巢小林八幡太鼓 十周年記念公演』

9月23日(水)増穂町文化会館大ホールにおいて、『まほらの郷・鷹座巢小林八幡太鼓・結成十周年記念コンサート』(加賀美久雄後援会会長)が開催されました。第1部は「誕生からあゆみ」と題して～まほらの郷鷹座巢小林八幡太鼓の歴史～、第2部は「祈り」と題して～子供たちに捧げる～、第3部は「未来へ」と題して～これからの私たち全ての人々が輝いて生きる～を演題とした演奏が会場一杯に鳴り響きました。この記念公演には、町内外の観客400余名が参加し『鷹座巢小林八幡太鼓』の心に響き伝わる太鼓の音を鑑賞しました。参加者は「子供たちがとても輝いて見えました。」「地域(小林)の伝統文化として、鷹座巢小林八幡太鼓を継承して行ってほしい。」「10周年記念公演はとても素晴らしかった。20年・30年と続けてほしい。」などと話していました。

この和太鼓の会が、次世代育成 地域づくり推進事業の一環として、青少年育成や地域コミュニティ健全発展の推進役として尚一層発展してほしいものです。

### 身延高校『ライフミュージアム構想展』

身延高校(杉田和孝校長)では、10月12日(月)から18日(日)の一週間にわたり、今年で4回目となる「学校博物館」が開館しました。昨年までは学校美術館構想展でしたが、今年には家庭科が加わり、また他校(富士北稜高校)との連携も図り、さらにプロの作品を展示して大変見ごたえのある内容になっていました。実行委員会学芸課長の小泉匠矢さん(2年生)は「地域との交流をより盛んにしたい。」と話していました。

なお、この実践は11月28日(土)に開催する、峡南地区異校種連携セミナーにおいて美術科 教諭 石田 泰道 先生に発表していただきます。(P4 インフォメーション参照)



<平成21年度文部科学省「目指せスペシャリスト」新規指定>

県立峡南高校 平成21年度～23年度 3年間指定

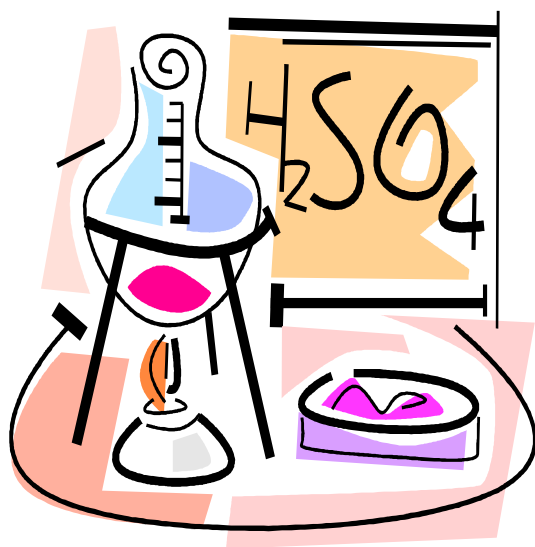
研究開発課題

『和紙を活かした商品開発と

次世代の身延町を担う人材の育成』

～西嶋和紙を中心とした伝統的地域産業の再発見とそれを現代に活かす商品開発～

教育基本法の改正に伴い「やまなしの教育振興プラン」が策定されました。教育の基本的な課題として、1 学校教育の充実、2 家庭・地域・学校の連携、3 生涯学習の推進、4 スポーツの振興、5 文化の振興が掲げられました。特に学校教育の充実に関しては、学校教育の基盤として体系的な「キャリア教育」の推進や、「生きる力」を心の側面から支える要素として「確かな学力の育成」など8項目、また家庭・地域・学校の連携では幼児教育・家庭教育への支援と地域全体で取り組む教育の推進を図る必要性が指摘されています。学校教育の一貫性や継続性、地域の教育力の向上が求められ、峡南地域においても異校種連携や地域連携・交流が進められています。キャリア教育に関しては、平成11年中央教育審議会は「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」の答申において、キャリア教育強化への期待を表明しました。この時初めて『キャリア教育』という言葉が登場しました。これを皮切りに平成15年には内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省の一府三省合同による「若者自立・挑戦プラン」が発表され、平成16年には中教審の協力者会議の報告書として「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てるために」が発表されるなど、近年学校現場におけるキャリア教育の充実が叫ばれています。そして、今年7月には、中教審キャリア教育・職業教育特別部会の審議経過報告が公表され、キャリア教育・職業教育の重要性はますます高まっています。このような中で、文部科学省では平成15年度から、先端的な技術等を取り入れた教育や伝統的な産業に関する学習を重点的に行うなど、特色ある取組を行う農業、工業、商業などの専門高校等を「目指せスペシャリスト」に指定し、将来のスペシャリストの育成に係る教育の教育課程等の改善に資する研究開発を行っています。このたび、平成21年度新たに全国で10校が指定され山梨県では初めて峡南高校（二宮寛美校長）が指定されました。



研究開発課題は、約400年前から身延町西嶋地区に連綿と続いている「和紙を活かした商品開発と次世代の身延町を担う人材の育成」、サブテーマとして～西嶋和紙を中心とした伝統的地域産業の再発見とそれを現代に活かす商品開発～となっています。このプロジェクトは、峡南高校に設置されている工業科と商業科の連携や地域の伝統的な産業との連携を図りながら、専門的学習の深化や地域のものづくり産業を支える人材育成を目指しています。

#### 西嶋和紙の由来

武田信玄公に仕える武士であった望月清兵衛は、1570年（永禄13年）修善寺方面に従軍した際に、伝統ある修善寺の製紙技術を伝え、その紙を信玄公に献上した。信玄は、これを嘉賞して末年と紙の産地西嶋の地名にちなみ、「西末」の朱印を作り、これに武田の割菱の紋を刻んで清兵衛与えた。以後今日まで、製紙業は、この西嶋において連綿と続いている。（身延町なかとみ和紙の里リーフレットから）

8月31日（月）峡南高校の文化創造館峡香館において、上記研究指定に関わる第1回目の運営指導委員会と同校教職員との連絡会議が開催されました。はじめに二宮校長先生から運営指導委員10名に委嘱状が手渡され、委員長の山梨県立大学 学長 伊藤 洋 先生から「山梨県内で初めて指定を受けたこのプロジェクトは、知識を現実に適合させ、地域の活性化を図ることを目的として、学校全体はもとより地域全体で遂行する。」と、

工学博士のお立場から、プラグマチズム(実用主義)を重視して研究開発を行う趣旨のあいさつがありました。その後、委員の自己紹介と学校職員の紹介があり、協議に入りました。事務局から研究概要、研究組織、教育課程編成、調査研究方法及び今年度の実施計画の詳細が報告され、各委員からは専門的な質問や具体的な提言・提案があり、2時間に及ぶ協議を終了しました。次回は11月18日(水)に開催予定です。

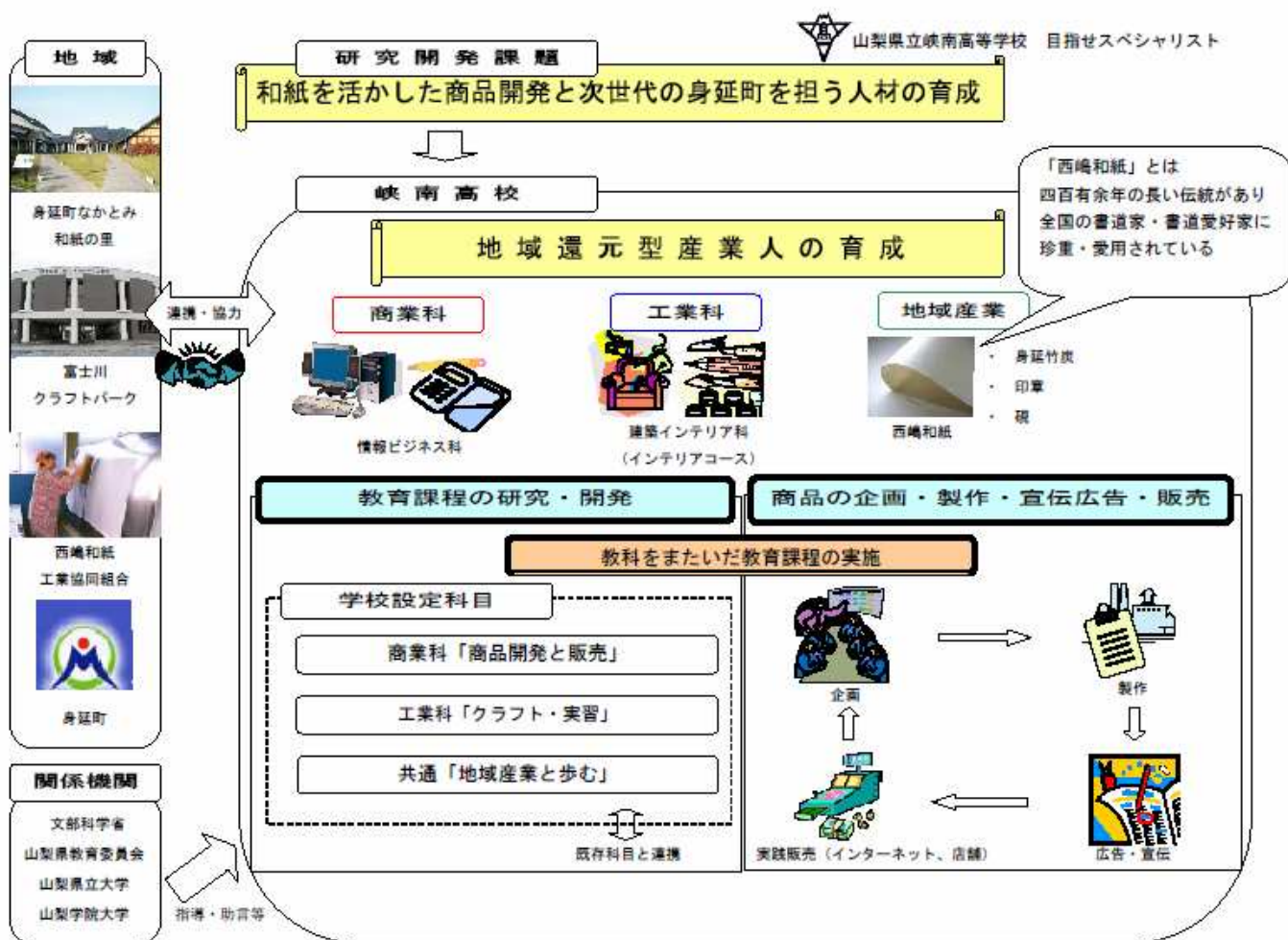


委員長あいさつ  
山梨県立大学 伊藤 洋 学長

研究開発委員会担当者からの事業説明

## 研究のイメージ図

写真及び資料提供: 峡南高校



## シリーズ 富士川に架かる地域の橋

### 第4回 「月見橋」



県道甲斐岩間停車場西嶋線で身延町西嶋と市川三郷町楠南を結んでいる「連続トラス橋」です。橋長 156.4m、橋巾 7mで、竣工は昭和 5 9 年で今回の橋シリーズ 1 2 橋の中で景色がすばらしい橋のひとつです。永久橋としては 2 代目にあたり、初代の月見橋は昭和 5 年に竣工しています。この完成を記念して昭和



1 2 年に橋畔に『観月橋碑』が建立されました。その碑文（一部訳文）によると「峡南一帯の・・・（中略）・・・、若し夫れ夏夜月を橋上にみれば天風岳より来り快言ふ可からず橋名ある所以なり、・・・銘に曰く 渡橋月夜 仰瞻仙顔 氷輪涵影 風漂銀 不唯風月 花雪亦新 四時勝地 功業潤身 昭和十二年一月 山梨県知事 正五位勲四等 土屋 正三撰立書」と橋名の由来が記されています。また、山梨の新富嶽百景に選定されていて、これより以南で県内の富士川沿いでは富士山の見納めです。（参考文献：『岩間村誌』昭和 2 6 年 3 月、『六郷町誌』昭和 5 7 年 1 0 月）

ところで 9 月号で出題した、「今回の 1 2 橋シリーズで一番新しい橋はどれでしょう」・・・正解は 8 番目に紹介する予定の『富山橋』で平成 2 0 年 1 1 月竣工です。まだ 1 年も経っていない、ピカピカ の 1 年生です。

#### \*\*\*\*\* インフォメーション \*\*\*\*\*

地域の行事や園・所、学校の取り組みを紹介します、ぜひ参考にしてください。  
なお詳細は各学校などにお問い合わせください。

##### 学園祭

身延山高校 1 0 月 3 1 日（土）～ 1 1 月 1 日（日）

増穂商業高校 1 1 月 6 日（金）～ 7 日（土）

わかば支援学校ふじかわ分校 1 1 月 6 日（金）～ 7 日（土）

##### 2 0 0 9 山梨テクノフェア（問い合わせ先：（財）やまなし産業支援機構 055-243-1888）

1 1 月 1 9 日（木）～ 2 1（土）（アイメッセ）中高生のロボコンやまなし 2 0 0 9 も行われます

##### 公開授業日

1 0 月上旬に各園・所、各学校に配付した「異校種・地域連携行事予定表（下半期）」を御参照ください

##### 峡南地区異校種連携セミナー

主催：峡南地域教育推進連絡協議会 峡南教育事務所

対象：峡南地区小学校・中学校・高等学校の教職員、小学校・中学校・高等学校の生徒の保護者  
各町教育委員会関係者（青少年教育担当・青少年育成カウンセラーを含む）

日時：平成 2 1 年 1 1 月 2 8 日（土）午前 9 時 0 0 分（受付開始）から午前 1 1 時 4 5 分まで

会場：身延町中富総合会館（身延町切石 360 TEL 0556-42-2337）

内容：講演 「学びをつなぎ、心を育てる 小・中・高連携の可能性」

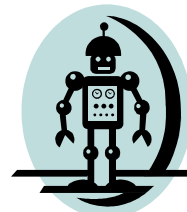
講師 山梨大学教育人間科学部 教授 鳥海 順子 先生

実践発表 県立身延高等学校「ライフミュージアム構想展」

発表者 教諭 石田 泰道 先生

実践発表 県立峡南高等学校「ロボット教室出前授業」

発表者 電子機械科 生徒 3 名、教諭 依田 淳 先生



#### ☺情報提供のお願い☺

情報紙「かけはし」の記事を募集しています。  
特色ある取り組み等、ぜひ御紹介ください。  
お寄せいただいた情報は、順次掲載する予定です。  
詳細は担当者までお問い合わせください。  
よろしくお願いたします。 m(\_)\_m

#### 編集後記

今年度、第 6 号で通算 8 2 号の「かけはし」です。  
保・幼・小・中・高・支援・地域等の情報を偏りなく提供して  
いくことを心がけています。峡南教育事務所 H P のカラー版で  
御覧ください。（URL は P 1 を御参照ください。）  
読者の皆様の温かい御支援をお願いします。 m(\_)\_m